

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	【特記仕様書 P.17】 質問回答④-3で、高盛土排水工ののり尻工Aの使用材料は0-80mmを想定しているとのことでしたが、「基盤排水層A」および「水平排水層A」の使用材料も0-80mmを想定されていますか。	使用材料のうち基盤排水層Aは0～80mm、水平排水層Aは0～40mmを想定しています。
2	【特記仕様書 P.52】 トンネル掘削の積算数量は鏡吹付コンクリート取壊しの数量を想定されていますか(下式)。 (トンネル掘削 積算数量(m3)=余掘りを含めた掘削数量(m3)+吹付コン取壊しの数量(m3))特記28-14-1(1) 3)に、鏡吹付けコンクリート取壊しに要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むとあります。	トンネル掘削の積算数量には、鏡吹付コンクリートの取壊し数量は含みません。
3	【特記仕様書 P.59-60】 ずり処理工において、取壊した鏡吹付コンクリートを切羽からずり積替え位置までを重ダンプで運搬する費用は想定されていますか(下式)。 (ずり処理工 積算数量(m3)=ずり処理工の積算数量(m3)+吹付コン取壊しの数量(m3))特記28-15-2(1)に、コンクリート塊の選別・再資源化施設への運搬と書かれています。	取壊した鏡吹付コンクリートを切羽からずり積替え位置までを重ダンプで運搬する費用は、割掛項目 ダンプトラック運転費に含まれます。
4	【訂正公告 正誤表(14)】 3/11 訂正公告資料 正誤表(14)で追記された、吹付コン取壊しの数量 9,554tは、設計積算の搬出・処分の数量として使用されていますか。 弊社が計算している鏡吹き数量 約5,000m ³ (12,000t)と異なります。	吹付コンクリートの取壊し数量は、本坑及び避難連絡坑の上半部の鏡吹付、箱抜き部、避難連絡坑接続部、やらず基礎部の吹付コンクリート部を想定しています。 なお、数量は4,154m ³ となります。

番号	質問事項	回 答
5	<p>【設計図 トンネル 4～6/171】 覆工コンクリートの数量は、設計図 トンネル 地質平面縦断図に示された各支保パターンの延長から求まる数量を使用されていますか。 設計図の延長と数量計算書の延長に差がある支保パターンがあります。 例えば、CI-L(H)-B 設計図 延長32m、数量計算書 延長31m など。</p>	覆工コンクリートの数量は、数量計算書を基に算出しています。
6	<p>【特記仕様書 P38-39】 地盤改良工 中層混合処理Aにおいて、プラント組立解体費は設計積算(単価表項目内)で想定されていますか。 割掛の運搬費には改良機本体のみが記載されています。</p>	プラント組立解体費は、割掛項目 工事用機械分解組立費に含まれます。
7	<p>【特記仕様書 P38-39】 中層混合処理機の足場に敷設する鉄板は、設計積算において想定されていますか。</p>	鉄板は、関連する単価項目に含まれます。
8	<p>【特記仕様書 P38-39】 地盤改良工 中層混合処理Aで使用する練り混ぜ水の調達費用は、別途協議事項と理解して良いですか。 地盤改良は起点側坑口に施工される設計で、トンネル用の給水設備では練り混ぜ水を調達できませんが、特記 9. 工事用水に関する事項で「取水位置が変更となる場合は、別途監督員と協議するものとする」とあります。</p>	練り混ぜ水の調達は、特記仕様書9. 工事用水に関する事項に示す取水位置を想定しております。
9	<p>【特記仕様書 P61-62】 計測工Cにおいて、計測器用のAC100V電源の費用は想定されていますか。 I 期線トンネル坑内の電源を使用できない場合、本工事用の仮設電力設備から電源を確保する必要があります。</p>	I 期線トンネル坑内の電源を想定しています。
10	<p>【特記仕様書 P44-45】 設計積算において補強土壁パネル材他の運搬費は想定されていますか。 補強材の重量は122tになり栃木県小山市からの運搬で10t車13台になります。 また、パネル材は江別市からの運搬で10t車9台になります。</p>	積算に関する質問についてはお答えできません。
11	<p>【特記仕様書 P50】 設計積算にコンクリートの冬期割増料金は想定されてると思いますが、冬期割増が発生する期間(積算条件)をご教示ください</p>	令和6年3月15日掲載の参考積算条件書ご確認ください。

番号	質問事項	回 答
12	<p>【設計図 附帯工 6/9】 設計積算に軽量盛土用の壁面材の外足場は想定されていますか。 質問⑧-64で、補強土壁ではブラケット足場を279mを想定しているという回答がありました。</p>	外足場については想定しておりません。
13	<p>【3/11 訂正公告 正誤表(18)】 3/11 訂正公告 正誤表(18)のコルゲートパイプ 2R-Φ1.50・t=2.7(C)の区分内容に重力式擁壁が記載されていませんが、含まれると考えてよいですか。 質問⑦-19で、STA. 836+38.5 延伸パイプカルバート一般図(3)にある重力式擁壁の費用は、単価表番号61 コルゲートパイプ 2R-Φ1.50・t=3.2 2.7(C)に含む認識で良いとの回答がありました。</p>	ご認識のとおりです。
14	<p>【割掛 仮設備工事費 給水設備費】 割掛工事 仮設備工事費の項目にある給水設備費の設計積算には、取水設備の費用が想定されていると考えてよいですか。 特記 9. 工事用水に関する事項に、「取水設備の設置、維持管理及び撤去に要する費用については関連する単価表の項目の単価に含む」とあります。</p>	ご認識のとおりです。
15	<p>【割掛 仮設備工事費 換気設備費】 割掛 仮設備工事費 換気設備費の数量内訳には160kw×1:20.9ヶ月、160kw×2:17.6ヶ月と記載されていますが、使用する送風機は3,000m³/min(160kw×2)が1台で、それを38.5ヶ月間使用すると理解して良いですか。</p>	ご認識のとおりです。
16	3/11訂正公告された数量一覧表 型わくD：軽量盛土工の数量がすべて削除されていますが、3/6回答書N095では「8.4m ² に修正」との回答でした、訂正公告内容でよろしいか、ご教示ください。	ご認識のとおり、令和6年3月11日掲載の訂正公告が正となります。
17	回答書3/6 N036及びN040「軟岩掘削は発破」とされています。道路掘削においても発破でしょうか。	道路掘削は発破の使用は想定していません。
18	<p>回答3/6 N054において、補強土壁3号の基礎フチングは「補強土壁工 帯鋼補強土壁Bに含まれる」と回答を頂きました。 訂正公告 数量一覧表「コンクリートC2-1等」には基礎フチングの数量が計上されていると考えます。 回答と訂正公告に違いがあった場合は、訂正公告を「正」としてよろしいでしょうか。</p>	ご認識のとおり、令和6年3月11日掲載の訂正公告が正となります。

番号	質問事項	回 答
19	3/6付 質問回答⑧ No. 54において、補強土壁工3号の基礎フーチング工は補強土壁工 帯鋼補強土壁Bに含まれるとの回答がでておりますが、3/11付 訂正公告では基礎フーチング工のコンクリートC2-1、型枠Dは各々の単価項目に含まれており、質問回答と矛盾しています。どちらが正しいのでしょうか。	令和6年3月11日掲載済みの訂正公告が正となります。
20	3/6付 質問回答⑧ No. 21において、仮栈橋購入材のスクラップ処理は仮栈橋撤去工に含むとの回答がでておりますが、スクラップ処理の対象範囲は上部工、下部工、土留工すべての購入材と考えてよろしいのでしょうか。残置するものがあれば特記仕様書 18. 残存物件の処理に関する事項への記載をお願いいたします。	ご認識のとおりです。 仮栈橋の購入材で残置するものではありません。
21	非常駐車帯CⅡ-L(H)-SBのすり付け分の掘削数量増分がCⅡ-b-i(H)-SBに加算されているようですが、該当箇所のCⅡ-b-i(H)-Bに計上するべきではないでしょうか。	非常駐車帯のすり付け分の掘削数量はCⅡ-b-i(H)-Bへの計上となります。 各トンネル掘削の数量は下記のとおりとなります。 ・トンネル掘削 CⅡ-b-B : 21, 210m ³ ・トンネル掘削 CⅡ-b-SB : 11, 196m ³
22	電力基本料金費の総電力使用量384万kwhには汚濁水処理工に要する分が含まれていないように見受けられます。汚濁水処理に必要な工事用電力費については汚濁水処理工(運転)で計上されますが、基本料金についてはどこに計上すればよろしいのでしょうか。	基本料金は割掛項目 電力基本料金費に含まれます。 なお、電力基本料金費の総電力使用量は387万kwhが正となります。
23	早期閉合の断面の吹付コンクリートは、上下半部とインバート部の吹付コンクリートが含まれると考えてよろしいのでしょうか。	ご認識のとおりです。
24	鏡吹付コンクリートの費用は、各トンネル掘削に含まれると考えてよろしいのでしょうか。	特記仕様書28-14-1 トンネル掘削 (1) トンネル掘削方法 3) に記載のとおりです。
25	図面88/171 非常駐車帯・絡坑避難坑一般図(4)の妻壁ロックボルトの材料表で、摘要欄が耐力170kN以上となっておりますが、C1Lのパターンボルトは290kN以上なので、290kN以上の間違いでないのでしょうか。	C1Lパターンの妻壁ロックボルトの耐力は290KN以上となります。
26	インバート埋め戻し工のD2-a-S1(H)-B、D3-a-S1(H)-B断面において、凍上抑制材の下(中央排水工より下の部分)に埋め戻す材料はトンネルずりと考えてよろしいのでしょうか。また、その費用は、インバート埋め戻し工に含まれると考えてよろしいのでしょうか。	特記仕様書17-1 盛土材 (3)の規定を満足する購入材を想定しています。 また、埋戻しに係わる費用は、インバート埋め戻し工に含まれます。
27	給水設備費に取水設備の費用も計上されているのでしょうか。	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
28	<p>【閲覧資料 東占冠TN 詳細設計 数量計算書4/16 鏡吹付数量計算書】 3/14 付けの質問回答で、下半部は鏡吹付コンクリートを施工しないと回答がありました。 DⅡ-a-S1(H)-B の鏡吹付の数量は、上半のみの32297m²。 DⅢa-S1(H)-B も同様に、上半のみの3266.2m² DⅢa-S(H)-B-F も同様に、上半のみの1765.8m² 下半部の鏡吹付コンクリート数量は計上しないことよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 なお、DⅡ-a-S1(H)-Bの鏡吹付の数量は、39,297m²を想定しております。</p>
29	<p>【閲覧資料 東占冠TN 詳細設計 第3 編 施工計画書 P5-6 本坑サイクルタイム表】 サイクルタイム表で下半部の鏡吹付を除いた場合、設計図の工程表に記載の月当り進行長が DⅡ-a-S1(H)-B の進行は、48m/月→49m/月 DⅢa-S1(H)-B の進行は、44m/月→45m/月 以上のようになりませんか。</p>	<p>参考図の工事工程表(参考図)に記載の月当り進行長を想定しています。</p>
30	<p>設計図【附帯工】9/9において基礎コンクリートの材料表に基礎砕石の記載がございますが、6/9の数量表には記載がございません。 今回壁面工の基礎コンクリートには基礎砕石を計上しないと考えるよろしいでしょうか。 計上される場合、使用される数量について併せてご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
31	<p>金抜設計書や設計図【付替道路】4/14の数量表において規格がt=15cmのセメントモルタル吹付工がございますが、市場単価の規格はt=5cm、t=7cm、t=10cmの3種類となっておりt=15cmでの単価がございません。 今回t=15cmのセメントモルタル吹付工は見積もりでしょうか。 又はコンクリート吹付工の間違いでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
32	<p>特記仕様書P68の(4)施工において仮棧橋Cの施工箇所は『KA1、KP1～KP17、A1』とありますが、設計図【工事用道路】には仮棧橋CにKA1が見当たりません。 施工箇所にKA1は含まれていますか。</p>	<p>仮棧橋Cの施工箇所は、KP1～KP17、A1が正となります。</p>

番号	質問事項	回答
33	<p>設計図【工事用道路】76/88の数量集計表において掘削と埋戻しの数量が記載されています。</p> <p>掘削後の仮置きはどちらに運搬されますか。</p> <p>また、仮置き土をそのまま埋戻しに使用されていると3月6日公表の質疑回答8-40にて回答がございましたが土量変化率を考慮すると埋戻し土が不足致しますが不足は何処の土を使用する計画でしょうか。</p>	<p>掘削後の仮置きは、掘削箇所付近に仮置きとなります。</p> <p>また、仮栈橋Cにおける埋戻し土の不足土量は考慮していません。</p>
34	<p>基礎コンクリートについて、設計図【工事用道路】76/88の数量表ではコンクリートは$\sigma_{ck}=21N/mm^2$とありますが、使用される生コンクリートの詳細規格をご教示願います。</p>	<p>仮栈橋C及びDの基礎コンクリートの規格はB2-1を想定しています。</p>
35	<p>基礎コンクリートについて、設計図【工事用道路】76/88の数量表ではコンクリートは56.2m²とありますが以下のように計算すると50.2m²となります。</p> <p>どちらが正でしょうか。</p> <p>KP1~KP14、KP17:1.0×0.5×6.0=3m³(15箇所、45m³)</p> <p>A1:(1.4×1.35-0.85×1.0)×5.0=5.2m³</p> <p>合計:45.0+5.2=50.2m³</p>	<p>ご認識のとおり、コンクリートの数量は50.2m²が正となります。</p>
36	<p>基礎コンクリートについて、設計図【工事用道路】76/88の数量表では鉄筋D13は977kgとありますが以下のように計算すると888kgとなります。</p> <p>どちらが正でしょうか。</p> <p>KP1~KP14、KP17:47kg×15箇所=705kg</p> <p>A1:183kg</p> <p>合計:705+183=888kg</p>	<p>鉄筋D13の数量は下記のとおりとなります。</p> <p>KP1~KP17:46kg×15箇所=690kg</p> <p>A1:183kg</p> <p>合計:690kg+183kg=873kg</p>
37	<p>基礎コンクリートについて、設計図【工事用道路】76/88の数量表ではアンカーボルトM22, L=400mmは204本とありますが以下のように計算すると192本となります。</p> <p>どちらが正でしょうか。</p> <p>KP1~KP14、KP17:3×4=12本(15箇所)</p> <p>A1:3×4=12本</p> <p>合計:180+12=192本</p>	<p>ご認識のとおり、アンカーボルトの数量は192本が正となります。</p>
38	<p>設計図【工事用道路】77/88、78/88より仮栈橋Dでは大型土のうが使用されていますが、土のうの中詰土にはどこの土砂を使用されていますか。</p> <p>また、大型土のう袋の処分費は見込まれていますか。</p>	<p>土のうの中詰土は、現地発生土を想定しています。</p> <p>また、大型土のう袋の処分費は別途協議となります。</p>

番号	質問事項	回答
39	<p>土工における掘削と埋戻しの数量の差は直接コンクリート基礎の体積と等しくなっていますが、質疑回答と特記仕様書より直接コンクリート基礎は撤去すると記載されています。 その場合現在の埋戻し数量ではコンクリート基礎分少ないのではないのでしょうか。</p>	<p>仮栈橋Cにおける埋戻し土の不足土量は考慮していません。</p>
40	<p>設計図【溝渠工】1/25、4/25、7/25において数量表が記載されています。 この数量表に記載された土工の項目はコルゲートパイプの項目にて計上されますか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
41	<p>3月6日公表の質疑回答8-27より数量はm²検測とありますが、現在計上されている数量は横断図の断面積から求められた体積と考えられます。 この場合、図面や質疑回答よりt=500mmなので、m²での数量は以下の計算によって求められる数量となりませんか。 2号補強土壁工:113.1m³÷0.500m=226.2m² 3号補強土壁工:409.8m³÷0.500m=819.6m² 4号補強土壁工:233.9m³÷0.500m=467.8m² 合計:226.2m²+819.6m²+467.8m²=1513.6m²</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
42	<p>設計図【工事用道路】66/88の数量表で特殊横構は設置のみとなっていますが、設計図【工事用道路】48/88の詳細図では完成時撤去範囲に特殊横構9PLB-Aが含まれていると考えられます。 どちらが正でしょうか。</p>	<p>完成時撤去範囲に特殊横構9PLB-Aは含まれます。 特殊材料のため購入となり、仮栈橋撤去までの期間は現地に仮置することを想定しています。</p>
43	<p>設計図【工事用道路】67/88の数量表で覆工板は『設置のみ』と『設置・撤去』の2種類ありますが、これは『設置のみ』を中古品、『設置・撤去』をリース品と考えてよろしいのでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。 なお、特殊覆工板はすべて中古品を想定しています。</p>
44	<p>仮栈橋Bでは架設時にメトロポストによる防護柵を設置しますがこれはリース品と中古品のどちらでしょうか。</p>	<p>メトロポストは中古品となります。</p>
45	<p>設計図【雑工】5/6より仮設目隠し板にメッシュシート(H=1.8m)が使用されていますが、メッシュシートの引張強度をご教示願います。</p>	<p>メッシュシート(H=1.8m)は、建設工事用シート(JIS A 8952 1類)で引張強度 200kgf以上を想定しています。</p>

番号	質問事項	回 答
46	<p>既設C-Bxにおいて移動足場が計上されています。 規格はトラック架設リフトブーム型：揚程8m～12m未満となっておりますが、3月6日公表の質疑回答8-28において『足場の種類は移動足場でトラック架設リフト(テック旋回・ブーム型)』を想定していると記載されています。 移動足場の規格はどちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>令和6年3月11日掲載の訂正公告が正となります。</p>
47	<p>2月21日公表の質疑回答6-10、12において直接コンクリート基礎は撤去し、仮栈橋撤去工に含まれるとありますが3月6日公表の質疑回答8-68では『直接コンクリート基礎の取壊しは率計上のため、不要と考えてよろしいのでしょうか。』という質疑に対し、『ご認識のとおりです。』と回答されています。 特記仕様書より取壊し時に発生するコンクリート殻の運搬・処分が率計上として当初計上は不要であり、取壊しの施工費については当初より計上するという理解でよろしいのでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
48	<p>仮設構造物 仮栈橋設置工B、撤去工Bの質疑回答よりリース期間は4ヶ月とあります。 このリース期間は設置工：4ヶ月、撤去工：4ヶ月と理解すればよろしいのでしょうか。 それとも設置工と撤去工での施工期間を合わせて4ヶ月と理解すればよろしいのでしょうか。</p>	<p>リース期間は仮栈橋設置工B：3ヶ月、仮栈橋撤去工B：1ヶ月の計4ヶ月を想定しています。</p>
49	<p>特記仕様書において道路掘削後、堀削土砂は『本線盛土箇所路体部、埋戻し部及び滝の沢工事用道路路体部へ運搬、敷均し、締固め』されると記載されています。 運搬箇所毎の数量についてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
50	<p>特記仕様書において道路掘削後、堀削土砂は『本線盛土箇所路体部、下部路床部、裏込め部、埋戻し部及び滝の沢工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め』されると記載されています。 運搬箇所毎の数量についてご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考え下さい。</p>
51	<p>トンネル掘削、吹付けコンクリート工「CI-B-S」「CII-B-S」「DI-B-S」の数量について、CIとCII区間では、「各発破工法区間」の延長を参照し数量算出しているのに対し、DIでは「DI-B-S断面」の延長を参照し数量計上されていると思われませんが、数量算出の各延長に間違いはないのでしょうか。</p>	<p>数量計算書を基に算出しており、数量に誤りはありません。</p>

番号	質問事項	回 答
52	トンネル掘削「C I-K-S2」の数量「18.7m ³ 」について、無発破工法区間のC I-K-S2の延長は $10.600-9.767=0.833\text{m}$ この延長より数量を計算すると $(0.833+0.157) \times 21.024=20.8\text{m}^3$ 上記延長による数量が正しいのではないのでしょうか。 その場合吹付けコンクリートの数量も同様の問題が生じる事になりますが、数量に間違いはないのでしょうか。	数量計算書を基に算出しており、数量に誤りはありません。
53	トンネル掘削「C II-K-S2」の数量「17.8m ³ 」について、無発破工法区間のC II-K-S2の延長は $9.900-9.054=0.846\text{m}$ この延長より数量を計算すると $(0.846+0.152) \times 21.024=21.0\text{m}^3$ 上記延長による数量が正しいのではないのでしょうか。 その場合吹付けコンクリートの数量も同様の問題が生じる事になりますが、数量に間違いはないのでしょうか。	数量計算書を基に算出しており、数量に誤りはありません。
54	トンネル掘削「D I-K-S2」の数量「17.8m ³ 」について、無発破工法区間のD I-K-S2の延長は $8.500-7.694=0.806\text{m}$ この延長より数量を計算すると $(0.806+0.161) \times 21.765=19.8\text{m}^3$ 上記延長による数量が正しいのではないのでしょうか。 その場合吹付けコンクリートの数量も同様の問題が生じる事になりますが、数量に間違いはないのでしょうか。	数量計算書を基に算出しており、数量に誤りはありません。
55	非常用施設箱抜工で「操作型通報設備(押しボタン式通報装置)+消火設備(消火器, 消火栓設備)+給水栓設備(給水栓)」の図面はございますが、「操作型通報設備(押しボタン式通報装置)+消火設備(消火器, 消火栓設備)」の図面がありません。 箱抜1箇所当りの数量として上記タイプは同じ箇所当り数量と理解すればよろしいのでしょうか。	ご認識のとおりです。
56	トンネル掘削「D III a-SB」について、数量明細表は「839.4m ³ 」ですが、図面から計算すると「836.5m ³ 」になります。 同様に、「D III a-SB-F1」では「1206.5m ³ 」と「1181.4m ³ 」、 同様に、「D III a-S-B-F」では「3481.9m ³ 」と「3443.4m ³ 」、となります。 該当箇所の箱抜き等の箇所数及び数量に間違いはないのでしょうか。	数量に誤りはありません。
57	コンクリートの冬季割増に該当するコンクリート量をご教示願います。	コンクリート量については、参考図の工事工程表(参考図)をご確認ください。 なお、冬季割増期間は令和6年3月15日掲載の参考積算条件書をご確認ください。

番号	質問事項	回答
58	避難連絡坑防護工の部材運搬(仮設材運搬)について、図面に記載があるロス率20%分の質量も運搬費を見込んで頂いているのでしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
59	割掛項目にトンネル掘削期間の『火薬取扱い費』の計上はありますが、明かり工事の発破に対する『火薬取扱い費』は変更協議による追加と理解すればよろしいのでしょうか。	明かり部の発破掘削に伴う火薬取扱い費等は、関連する単価項目に含みます。
60	防音扉の設置・撤去費について、覆工施工前、施工後の2回を計上して頂いているのでしょうか。	ご認識のとおりです。
61	2月21日公表の質疑回答6-20にて回答がございました『鋼矢板の運搬費』について、構造物掘削 特殊部Aに含みますと回答を頂いておりますが、上記計上方法ですと直接工事費となりますが、その場合、共通仮設費率の対象金額として考慮されていると理解すればよろしいのでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
62	3月6日公表の質疑回答8-63にて回答がございました『仮設防護柵及び仮設目隠し板工の運搬費』について、関連する単価項目に含みますと回答を頂いておりますが、上記計上方法ですと直接工事費となりますが、その場合、共通仮設費率の対象金額として考慮されていると理解すればよろしいのでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
63	トンネル掘削『割岩工法』を用いる区間ですが、特許料の計上有無をご教示願います。	特許料は計上します。
64	トンネル掘削『割岩工法』を用いる区間ですが、特許料をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
65	トンネル掘削『割岩工法』を用いる区間ですが、二次破砕で使用する大型ブレイカの規格は分解・組立、輸送を必要とする規格ではないのでしょうか、その場合どの項目にて計上頂いていますでしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
66	早期閉合のインバート部分鋼アーチ支保工の建込みですが、見積条件として下記のどちらで考慮されているのか、ご教示願います。 ①上下半分+インバート分の支保工質量を1基/シフトとする。 ②上下半分とインバート分の支保工質量を別々とし計2基/シフトとする。	上下半分とインバート分をそれぞれの建込みとして算出しています。
67	工事における低入札価格調査について(要領)に、調査基準価格の算出においては、直接工事費等に乗じる数値が記載されています。金抜設計書の18-(18)六価クロム溶出試験に乗じる数値をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
68	<p>【令和6年3月15日参考積算条件書】 3/15に公開された参考積算条件書④トンネル関係において切込砕石40-0mmが掲載されています。 この材料はインバート埋戻しに使用することを想定されていますか。</p>	参考積算条件書に関する質問についてはお答えできません。
69	公表された参考積算書③使用材料の栈橋材料費は、全て中古材の単価と考えて宜しいでしょうか。	参考積算条件書に関する質問についてはお答えできません。
70	特記仕様書29-15-2ずり処理工の支払に「鏡吹付けコンクリートの取壊しにより生じたコンクリート塊の選別」とありますが、選別の方法は、人力による選別と機械による選別のいずれを想定しているのでしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
71	上記に関して、選別したコンクリート塊を再資源化施設へ運搬する際の、運搬車両への積み込み方法は、人力による積み込みとバックホウによる積み込みのいずれを想定しているのでしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
72	<p>【設計図】平面図 10/10 一線沢仮置場の盛土の重心位置は下記のうち、どれを想定しているのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仮置場③ (7-1のみ、560m) 2. 仮置場⑦ (7-1～7-5の合計、1,420m) 3. 仮置場③と⑦の中間地点 (7-1に、7-2～7-5の平均を加算した距離、990m) 4. 上記以外 (この場合は、想定されている重心位置をご教示ください) 	積算に関する質問についてはお答えできません。
73	<p>【特記仕様書】28-14-1 トンネル掘削において、○-S1-B、○-S-B-Fの早期併合ではインバートの仮埋戻し・積込を含むと記載されていますが、その際に使用するダンプトラックの供用日損料および運搬の補助労務は【割掛対象表参考内訳書】3/5 ダンプトラック運転費で計上されているのでしょうか。 計上されていない場合、計上先をご教示ください。</p>	ご認識のとおりです。
74	<p>【割掛対象表参考内訳書】3/5 ダンプトラック運転費に記載のインバート掘削数量25,799.0m³は、全ての支保パターンのインバート掘削の合計数量と思われます。 このことから、インバート掘削数量には早期併合区間の数量も含むと考えてよろしいでしょうか。</p>	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
75	<p>【設計図】付替道路 10/14 の付替道路吹付のり砕工詳細図において、水切処理が図示されています。</p> <p>数量表には、これに関連する項目の記載が見当たりませんが、施工に必要な費用は単価番号33 吹付のり砕工で計上されていると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>計上されている場合、数量を提示して頂けないでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p> <p>なお、水切に必要な水切コンクリートは11.2m³となります。</p>
76	<p>【割掛対象表参考内訳書】3/5 給水設備費に記載の坑外配管延長239mは、給水管と取水管の合計だと思われませんが、取水設備に要する費用もここで計上すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
77	<p>令和6年3月6日【質問書に対する回答】の番号52の回答において、「BOXの外側埋戻し材は裏込め工Bで計上願います」とありますが、これは、【設計図】溝渠工 10/25 の数量表の裏込め材B (949.6m³) を単価番号20の裏込め工Bで計上すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>裏込め工Bは購入材、裏込め材Bは現地発生材となります。</p>
78	<p>参考積算条件書（令和6年3月15日公表）において、特殊覆工板、主部材（PG型）、主部材（防護柵）、特殊部品の単価が記載されていますが、これは中古品単価と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、リース品単価（仮栈橋B用）も公表して頂けないでしょうか。</p>	<p>参考積算条件書に関する質問についてはお答えできません。</p>
79	<p>2/21付【質問と回答⑥】管理番号12において仮栈橋Dは「直接コンクリート基礎および大型土のうは撤去」、3/6付【質問と回答⑧】管理番号65において「工事用道路は存置を想定」とご回答がありました。また3/11の訂正公告において、単価表番号210、212に直接コンクリート基礎の撤去が含まれました。</p> <p>設計図 工事用道路68~69/88、77~78/88を見ると、栈橋支持杭の撤去・直接コンクリートの撤去到工事用道路路体部の掘削・埋戻しが必要と考えられます。</p> <p>これらは受注後の協議対象と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>異なる場合は掘削・埋戻し及びその他計上すべき項目の数量・条件をご教示願います。</p>	<p>工事用道路路体部の掘削埋戻しは別途協議の対象となります。</p>
80	<p>設計図④17/27の数量表において、基礎フーチング工、置換コンクリート工は、型わくDとして計上されています。</p> <p>これらのコンクリート構造物は18/27の詳細図では高さ3~4mあります。</p> <p>これら構造物の型わくは「橋台・擁壁（重力式）」相当と考えてよろしいでしょうか。異なる場合その仕様をご教示願います。</p>	<p>無筋コンクリート構造物を想定しています。</p>

番号	質問事項	回答
81	トンネルで使用する生コンクリートは冬期に施工するものもあります。冬期に使用する生コンクリートについては冬期割増料金を含めたものとして計上されていますでしょうか、ご教示願います。	ご認識のとおりです。
82	避難連絡坑の覆工コンクリートについて、加背割図（参考図）の断面積と公表された数量計算書の断面積で異なる値が記載されています。参考図を正と考えてよいかご教示願います。 C I -B-S 加背割図：支払い3.617m ² 、数量計算書：積算3.647m ² C I -K-S1 加背割図：支払い2.695m ² 、数量計算書：積算2.774m ² C I -K-S2 加背割図：支払い2.695m ² 、数量計算書：積算2.774m ² D I -B-S 加背割図：支払い2.735m ² 、数量計算書：積算2.728m ²	避難連絡坑の覆工コンクリートの数量は以下が正となります。 ・C I -B-S：3.647m ² ・C I -K-S1：2.774m ² ・C I -K-S2：2.774m ² ・D I -B-S：2.728m ²
83	数量明細表（契約単価）（5/13）の型わくDについて、4号補強土壁工の数量55.0m ² が、のり面工設計図の4号補強土壁工構造図では41.4m ² となっています。どちらが正しいかご教示願います。	4号補強土壁工の型わくDの数量は41.4m ² が正となります。なお、型わくDの41.4m ² は補強土壁工 帯鋼補強土壁Cに計上願います。
84	割掛対象表参考内訳書3/5の換気設備費について、風管の材料費は計上するという認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
85	質疑回答④の7において、本線盛土場の盛土材について「トンネル掘削ずりを盛土材として使用するための小割、破碎等の粒度調整に必要な費用は含まれる」との回答をいただきましたが、使用機械・設備、施工歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
86	質疑回答⑧の95において、型わくについて「軽量盛土8.4m ² が正となります。」と回答がありましたが、数量明細表では数量が0に修正されました。どちらが正しいかご教示願います。	軽量盛土工の型わくDの数量は8.4m ² が正となります。なお、型わくDの8.4m ² は軽量盛土工 壁面工Aに計上願います。
87	早期閉合区間のインバート仮埋戻しの材料は購入材ではなく、掘削土でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
88	早期閉合区間のインバート仮埋戻し土の掘削（撤去）時の土質はD地質としてよいかご教示願います。	土砂Bを想定しています。
89	早期閉合区間のインバート吹付前のインバート掘削およびインバート吹付後の仮埋戻しの作業は2方と考えてよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
90	早期閉合区間のインバート吹付前のインバート掘削およびインバート吹付後の仮埋戻しはトンネル掘削に含めると考えてよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
91	早期閉合区間のインバート仮埋戻し土の掘削（撤去）および本埋戻しの作業は1方と考えてよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
92	早期閉合区間のインバート仮埋戻し土の掘削（撤去）はトンネル掘削に含めると考えてよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
93	質疑回答④の6において、高盛土区間の品質管理について「施工仕上がり厚、締固め機械はモデル施工により決定する」との回答をいただきましたが、入札時の積算においては高盛土の施工は考慮しないとの認識でよいかご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
94	3月11日に訂正された加背割図（2）（参考図）のインバート仮埋め戻しの断面積13.052は、盤下げの断面積9.554よりも大きいのは間違いではないかと思われます。 ご確認願います。	早期閉合断面においては、盤下げは下半掘削後の断面積で計上しており、インバート仮埋戻しは施工基盤までの断面積を計上しています。
95	避難連絡坑の掘削について、積算基準では、トンネル世話役1人、トンネル特殊工3人、トンネル作業員0人ですが、避難連絡坑の割岩工法区間における編成人員は、割岩工法便覧に従い、トンネル世話役1人、トンネル特殊工5人、トンネル作業員1人としてよいかご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
96	設計単価は令和6年3月を採用予定とのことですが、労務費も令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価を採用するとの認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
97	トンネルの給水設備について取水ポンプは計上されていますか。 計上されている場合は計上している単価項目をご教示願います。	取水ポンプは割掛項目 給水設備費に含みます。
98	数量明細書 216除雪工 除雪作業Aについて、作業時間335hの運転でかかる運転手の人数をご教示願います。	特記仕様書28-22に記載のとおりです。
99	数量明細書 216除雪工 除雪作業Aについて、エッジ損耗費とタイヤチェーン損耗費は計上されているかご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
100	上記で計上されている場合、作業は軽作業、普通作業、重作業のどれになるかご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
101	特記仕様書 P.73 プラント冬季養生についてヒーター、ボイラー等とありますが規格・仕様と台数をご教示ください。 また作業休止日の有無と一日の運転時間をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
102	特記仕様書 P.73 濁水処理設備冬季養生についてヒーター等とありますが規格・仕様と台数をご教示ください。 また作業休止日の有無と一日の運転時間をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
103	トンネルの本坑防音扉は買取と考えてよろしいですか。	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回 答
104	特記仕様書 P.77、30-7-1で鋼材関係の調達地域が札幌市となっています。異形棒鋼も同様に札幌市でしょうか。また、物価資料の地区も札幌市になりますか。ご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
105	金抜設計書 159～161のずり処理工A1～C1で使用する機械損料についての豪雪補正を行っていますか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
106	金抜設計書7 2- (5) 盛土工で使用する砕石の割増率は下記のどれでしょうか。 ①1.2、②1.15、③なし	積算に関する質問についてはお答えできません。
107	明り工事は冬季休止期間がありますが施工機械損料の豪雪補正は行いますか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
108	トンネル掘削及びインバート掘削において、坑内から仮置き場に運搬するずり処理はトンネル工の稼働率を用いて積算するかと思われませんが、仮置き場から盛土箇所や捨土箇所に運搬するずり処理は土工工事の稼働率を用いて積算すればよろしいでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。
109	質疑回答⑧の21において、仮設材のスクラップ処理は仮栈橋撤去工に含むとの回答がございましたが、スクラップ量が多いため、撤去工がマイナスとなるという認識でよいかご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
110	仮設材のスクラップ処理に関しては、R5積算基準p.3-4の(4) 賃料計上限月額に基づき、新品価格の80% (中古品相当価格+スクラップ分控除額) としてよいかご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
111	3月15日に公表された参考積算条件書の材料価格で特殊覆工板、主部材 (PG型)、主部材 (防護柵)、特殊部品の単価にはスクラップ処理費は含まれているでしょうか。	参考積算条件書に関する質問についてはお答えできません。
112	仮設栈橋撤去工で計上するスクラップ処理費には、運搬、積卸費は計上されていますか。 運搬費を計上されている場合は、運搬距離も含めてご教授願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
113	質疑回答④の7において、本線盛土場の盛土材について「トンネル掘削ずりを盛土材として使用するための小割、破碎等の粒度調整に必要な費用は含まれる」との回答をいただきましたが、粒度調整した材料の土質区分は土砂Fとしてよいかご教示願います。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
114	3月15日に公表された参考積算条件書の材料価格に切込砂利がありますが、使用箇所はどの工種を想定されているのでしょうか。	参考積算条件書に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
115	構造物掘削_普通部B,Cで発生する軟岩掘削は、発破またはブレイカー掘削のどちらでお考えでしょうか。	軟岩掘削は発破を想定しています。
116	高盛土区間の緩速施工について、1層当たり何cmとなるかご教示願います。	特記仕様書28-3 高盛土排水工 (3)施工 6)に記載のとおりとなります。
117	質問回答⑧-6で「トンネル掘削に含まれます」と回答をいただきましたが、以下のいずれでしょうか。 ①単価表の項目「○-B-S」、「○-S B-S」、「○-K-S 1」、「○-K-S 2」に各掘削パターンごとに要する共用日数分の共用日損料（11欄）を計上する。 ②積算基準書の通り別途ホイールローダーの共用日損料は計上しない。	積算に関する質問についてはお答えできません。
118	令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価にさく岩工の労務単価は掲載されていません。 明り工事の発破併用掘削におけるさく岩工の労務単価の決定方法をご教授願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
119	質疑回答⑧の13において、「01_東占冠TN 詳細設計_「第3 編 施工計画・仮設備計画書」p.5-6 のサイクルタイム表において、インバート仮埋戻しの跡片付けは支保工建込み時間を想定しています。」とのご回答をいただきましたが、DIIIa-S(H)-B-Fにはインバート部の鋼製支保工がないため、跡片付け（支保工建て込み）時間は0になるという認識でよいかご教示願います。	後片付けは、支保工建込みのみではないものと考えております。
120	上記に関して、跡片付け（支保工建て込み）時間が0になる場合、DIIIa-S(H)-B-Fの月進は、35m/月になるとの認識でよいかご教示願います。	後片付け時間は必要と考えております。
121	トンネルのインバートコンクリートC2-1 (T)について、鉄筋区間、無筋区間を問わずコンクリートはW/C=65%を使用するとの認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
122	質疑回答⑤の1において、「高盛土区間は、緩速施工（10cm/day）で路体盛土の施工を行う」との回答をいただきましたが、施工歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
123	質問回答⑨-1においてt=250分の吹付はサイクルタイムに考慮していないとのことですが、これは工程計算上の話でしょうか。 あるいは施工機械の供用損料を求めるための全体のサイクルタイムにも含んでいない、ということでしょうか。	積算に関する質問についてはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
124	特記仕様書28-14-1-(2)の初掘削の種別の早期閉合パターンの摘要欄に、「インバート仮埋戻し・積込含む」とありますが、ここでいう積込とは坑外仮置場での埋戻し材の積込のことでしょうか、あるいはインバート2次掘削での積込のことでしょうか。	積込とはインバート2次掘削での積込となります。
125	インバート仮埋戻しの埋戻し材は発生土の流用でしょうか、あるいは購入材でしょうか。	インバート仮埋戻しの材料は現地発生土を想定しています。
126	DⅡ-a-S1(H)-BとDⅢ-a-S1-(H)-Bのインバート埋戻し下部の凍上抑制材ではない部分の埋戻し材は流用土でしょうか購入材でしょうか。	全て購入材を想定しています。